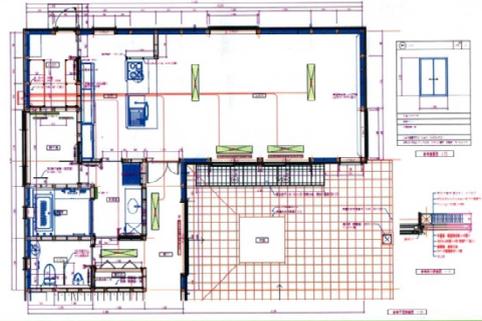




建築科建築コースの講話が行われました！

7月27日、本校教室において建築科建築コース1年生を対象に講話が行われました。第一部は新潟県建築士事務所協会の所長である坂本忠志様から省エネルギー住宅の考え方について、羽二生道夫様から実際の建築物の紹介をしていただきました。

実際の図面を見ながら
省エネ住宅について学びました！



第二部ではフォーラム一級建築士事務所の小林哲也様より「建築の世界へようこそ」というテーマで建築について日本の海外の考え方の違いや、省エネに対する考え方などについてお話いただきました。建築により興味を持ち、そして教科書だけでは学べない貴重な講話となりました。

講話の様子。
真剣に話を聞いています！

【スキルアップシートより】

建築で英語は特に必要ないと思っていたが、縦手すり (Grad bar)、横手すり (Hand rail) で日本語は縦か横かの違いだけだが、英語だと目的が伝わるようになっていて、英語と日本語で言葉の持つ役割が違うことがわかった。また、地域の特徴を理解しないと、省エネなどの対策をしたとしても打ち消されてしまう時があることもわかった。

2020年から省エネルギー住宅が、法律化すること、照明や家電の使用エネルギーが住宅の中では割合が高いこと、断熱材の入れ方などを知ることができた。

【生徒の変容と身についた力】

- ・世界の建築物を見ることで、建築に対する興味が深まった。
- ・省エネルギー住宅とはどういうものか、住宅における省エネの役割の重要性を認識できた。
- ・日本と海外では建築物そのものの考え方が違い、英語を学ぶ必要性を学んだ。